
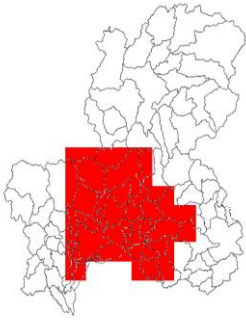


ビランジ	<i>Silene keiskei</i> Miq. var. <i>minor</i> (Maxim.) Ohwi et H.Ohashi	絶滅危惧1類
		ナデシコ科
選定理由	生育地が限定されて狭く、個体数が著しく少ない。	写真(岐阜県博物館) 
形態の特徴	基本種のオオビランジと比べて丈が低く、高さ10-30cm、短毛があり、上部には腺毛が混ざる。葉はほぼ無柄で、披針形~広披針形、縁に毛がある。花は2出集散花序状にまばらにつく。花弁は紅紫色で2浅裂する。蒴果は長楕円形で3裂する。	
生態的特徴	山地の崖に生える。	
分布状況	本州中部に分布する。岐阜県には、県南中部に分布する。	
減少要因	開発等による生育に適した崖地の減少。乱獲による。	
保全対策	生育に適した崖地の保全。盗掘の防止。	
特記事項		
参考文献	北川政夫(1982)ナデシコ科. 日本の野生植物1 離弁花類. 平凡社	※生育地保全のため、広範囲の分布図を表示しています。

文責:千藤克彦